

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

令和2年度 第3回 飯倉駅前地区まちづくり協議会

議事録

日時 (協議期間)	【書面開催】※新型コロナウイルス感染防止対策として ・協議期間 令和3年3月10日(水)～令和3年3月15日(月)
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 大塚 栄一 匝瑳市商工会副会長 鈴木 弘 匝瑳市シルバー人材センター会長 眞田 心哉 千葉興業銀行営業支援部長代理 代理出席 伊場 寛人 千葉興業銀行八日市場支店長 宇野 智弥 匝瑳市介護事業者連絡会長 加瀬 功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 吉本 光志 豊栄地区社会福祉協議会長 椎名 英夫 幼稚園・保育園運営者代表 川崎 隆 豊栄地区区長会長 鵜之沢 正吉 須賀地区区長会長 山口 勝則 移住希望者</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸 美代 専務理事 鈴木 敦子 事務長 庄村 秀泰 コーディネーター</p> <p>特定非営利活動法人元気な日本をつくる会 武藤 克哉 組織運営本部事務局長</p> <p>■オブザーバー</p> <p>匝瑳市 林 雅之 匝瑳市企画課長 木内 将市郎 匝瑳市企画課 副主査</p>

議事録	事務局	<p>1 書面開催について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染防止対策として協議会を 書面開催に変更し、協議会委員へ資料を事前交付</p> <p>(2) 意見票を15日午前中までの投函を依頼</p>
	事務局	<p>2 議事</p> <p>(1) 第2回協議会/専門部会委員の意見紹介</p> <p>① 移住・定住へのPR手法</p> <p>② 地域交流センターの活用</p> <p>(2) 事業進捗状況報告</p> <p>1) 工事進捗状況報告</p> <p>① サービス付き高齢者向け住宅「聖アンナ館」</p> <p>② 地域交流センター「ナザレの里」</p> <p>2) 移住・定住へのPR手法</p> <p>① PR動画の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3話「老人保健施設 ミス・ヘンテ記念 ケアセンター」 ・ 第4話「九十九里ホームデイサービスセン ター」 ・ 第5話「九十九里ホーム病院」 ・ 第6話の内容はまちづくり全体概要の予定 ・ 3月8日(月)HPへの掲載終了 <p>② まちづくりパンフレットの制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月12日(金)納品済 <p>3) 地域交流センターの活用</p> <p>① 生涯学習施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当初は九十九里ホームの企画と一般貸出で運 営し、将来はNPO法人設立の方向で検討 <p>② 農産物直売所の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者就労継続支援事業所を開設し、直 売所を運営する方向で検討 <p>4) 移住者等に対する支援プログラム</p> <p>① お試し移住による移住促進</p> <p>② ぐらしの相談窓口の開設</p>

		<p>③ 市内地域資源への案内 ④ 企業と就職希望者をつなぐ就労支援 ⑤ 社会貢献活動やサークル活動等への社会参加</p> <p>(3) 令和2年度 まちづくり協議会のまとめ</p> <p>1) 「安心・安全な生涯活躍のまちを実現する運営方法とPR」をテーマに、移住・定住の推進PRについて検討</p> <p>① 動画を制作済み ② パンフレットを制作済み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度は各種PRツールを活用し、市外・都市部へのPRを継続検討 <p>2) 「匝瑳市全体で取組むコミュニティ運営」をテーマに、地域交流センターの活用について検討</p> <p>① 生涯学習室の運営の方向性を確認 ② 農産物直売所の運営の方向性を確認 ③ 移住者等への支援プログラムを検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度は運営方法や運営主体をより具体化 ・ 支援プログラムを準備
	<p>【意見票】</p> <p>A 委員</p> <p>B 委員</p>	<p>元気な高齢者の移住や若者の新たな働き場所の創出として機能する「サービス付き高齢者向け住宅」や「地域交流センター」などの施設を整備することを通して、市の発展に貢献している。これからも、九十九里ホームが核となり、官民一体で牽引していくことに期待する。</p> <p>新聞記事に「サービス付き高齢者向け住宅にフットサルコートを作り地域交流の場に」「サ高住に入居すると高齢者、特に男性は目標を失ったように元気を無くす」という記事があったので参考に同封する。入居者に対して潤いを持たせるため、市と連携をして趣味の講座等の参加を募るといったのもよいのではないかと。</p> <p>また、国は日本の農産物輸出強化地域として成田空港南エリアに大規模集荷施設を作ること考えているという様</p>

	<p>C 委員</p> <p>D 委員</p> <p>E 委員</p>	<p>な話を聞いたことがある。サービス付き高齢者向け住宅入居者も無理のない就労なら可能ではないか。生きがいがづくりが課題だと思う。</p> <p>基本的な計画は決まっているが、今からでも出来ることもあるので検討していきたい。</p> <p>① 施設入口周辺に賑わいをもたせる為の演出の検討。</p> <p>② パンフレットは無難なものであり、もっとワクワク感が感じられるものがよい。</p> <p>③ 施設のネーミングはあまり宗教色が強くない方がよい。せめて交流センターのネーミングは考え直した方がよい。(可能であればサ高住も)</p> <p>④ 施設全体を表現するスローガン (キャッチフレーズ) を考えた方がよい。</p> <p>⑤ 農福連携事業は単独の事業としても素晴らしいので、行政や企業を巻き込んだものにしたい。</p> <p>地域交流センターについては賑わっている「道の駅」などを参考にするとよいのでは。</p> <p>PR 動画は匝瑳市移住サポート情報があるとよい。パンフレットは匝瑳市移住サポート制度も掲載されており、よくできていると思う。移住者募集の月刊誌等に掲載するなどしたら効果的ではないか。</p> <p>生涯学習はコロナ禍でリモートワーク等デジタル化が進んでいるが、高齢者はデジタル化についていけないので、その辺の学習対応があるとよいのでは。</p> <p>農産物直売所は車を止めて簡単に買えるような雰囲気だとよい。</p> <p>移住者支援は匝瑳市の地域振興協議会と協働できるとよい。</p> <p>現在工事中のまちなか居住ゾーンと交流ゾーンの施設が無事に運営出来ることを願っている。また、移住、定住者が安心して楽しい生活が送れるよう「社会参加、地域住民との交流、就労支援」等の企画ができればよい。</p>
--	-------------------------------------	---

F 委員	<p>地域交流センター完成後、高い資質を持った人材の確保が今後の課題になるが、特に中心となる人の確保は重要となるので「発想が豊かな動ける人材」であってほしい。</p>
G 委員	<p>本年に全ての施設が完成予定だが、「ハコ」が綺麗でも中身がスカスカでは失敗してしまう。次は中身をどんどん形作らないといけない。中身の充実にお金をかけ、主体的に動ける人間を増やしてはどうか。</p>
H 委員	<p>PR 手法について PR 動画は再生回数が少なく PR としてはまだ弱いと感じる。農福連携も素敵だが、若い世代に魅力を感じて頂けるような PR も市の存続を考えると必要だと思う。現在の動画とは別に市としても子育て世代を呼び込むための動画を制作すべきと考える。例えば、子育て環境や仕事環境の PR 動画、あるいは進学で転出した大学生向けの PR 動画などを作ることで、お金は無いがやる気がある若者世代を呼び戻すことが必要だと考える。</p> <p>最後に世代が若返れば活気ある明るい街になり、高齢者もあの街なら安心して老後を過ごせると思って頂けるようになると思う。</p>
I 委員	<p>特にない。</p>
J 委員	<p>特にない。</p>
井上峰夫 会長	<p>委員の皆さんから寄せられたたくさんのご意見、ご感想を参考にしながら、次年度の飯倉駅前生涯活躍のまち形成事業の進展を図っていきたい。</p> <p>1年間、コロナ禍の中でご協力を賜り、また協議会の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございました。</p>
事務局	<p>3 閉会</p>